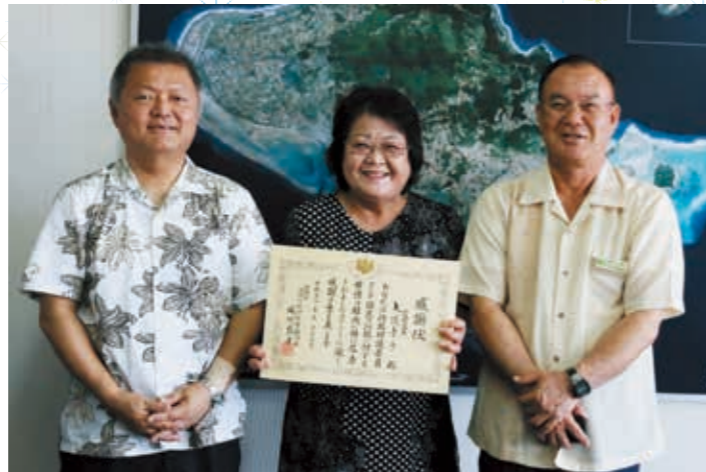


総務省より感謝状贈呈

行政相談委員 大道幸子さん

6月7日、本町の行政相談委員である大道幸子さんへ、総務省沖縄行政評価事務所長より町民の行政に対する苦情の解決等に特に尽力されたことに対し、感謝状が贈呈されました。

行政相談委員は町民から、毎日の暮らしの中で感じている行政などへの苦情や意見、要望を受け、その解決・実現を促進するとともに、行政の制度や運営の改善に生かせるよう取り組んでいます。



いつまでも守り続けたい紬の技

久米島紬後継者育成事業 入所式

町では、久米島紬の技術や文化の継承を目的に、後継者育成事業を行っています。今年度は3人の受講生を迎え、6月4日に入所式が行われました。桃原副町長は、「長い歴史と伝統を守るため、1年間でしっかり、技術を身につけて、後継者として頑張ってください。」と激励しました。受講生らは1年間で4反を織り上げることで、終了証が授与されます。糸くり、染め、織りと多くの工程を覚えて、技術を身につけ、立派な織り手を目指します。



久米島町障害者家族会総会

5月29日老人福祉センターにて、平成30年度久米島町障害者家族会総会が行われました。当事者・家族関係者合わせて60名が参加し、平成29年度決算報告・平成30年度予算案について報告がありました。総会終了後は、懇親会が行われ、幕開け「かぎやで風」をはじめ、琉舞・三線・ダンスなど盛りだくさんの余興があり、最後は参加者全員で「カチャーシー」を踊り楽しい時間を過ごしました。

キレイな海を守るため

久米島美ら海環境基金

久米島のもずくを育む美しい海を守ることを目的とした「久米島美ら海環境基金」の贈呈式が5月18日、仲里庁舎で行われ455,277円が贈呈されました。

この基金は「大阪いずみ市民生協」と「わかやま市民生協」の協同購入と店舗で久米島産もずくを使った商品1点につき3円を製造元の(株)海産物のきむらやで積み立ててきたものです。基金は、海岸の漂着ゴミの除去や赤土流出防止等の環境保護活動などに使われます。



つくいむん・たらかむん・みしーぶさむん

老人クラブ作品展

5月17日から20日、久米島博物館で町老人クラブ連合会主催の作品展・農産物販売会が行われました。「つくいむん・たからむん・みしーぶさむん」と題し、会員92人による絵画、書道、盆栽、手芸品などの作品336点が展示されました。この日に向けて半年前から制作にとりかかるなど、作品は毎年質が向上しています。これまで3日間だった開期を1日のばし、4日間で町民ら約480人が来場し、作品を観覧しました。



世界に一つだけのプレゼント

母の日プレゼント教室

5月12日にユイマール館にて「母の日プレゼント作り教室」(主催:町教育委員会)が開催され、28人の児童生徒が参加しました。

参加者らは、久米島紬事業協同組合の皆さんの指導を受けながら、島の草木染めを用いた「バンダナ」や「ストール」を作りました。日頃から愛情をたくさん注いでくれるお母さんへ感謝の気持ちを込め、世界に一つしかないオリジナル作品が完成しました。



豊漁を祈り勇壮に駆けぬける

真泊・鳥島・儀間ハーリー

旧暦5月4日(ユッカヌヒー)にあたる6月17日、航海の安全や豊漁を祈願するハーリーが鳥島漁港、儀間漁港、真泊漁港において行われました。台風5号の影響により大会開催が危ぶまれたものの、当日は快晴。各漁港では、児童・生徒らの体験ハーリーは中止となりましたが、地元漁師が中心となる本ハーリーをはじめ職域対抗ハーリー競漕が行われました。各会場では、子どもたちの玉入れ競争や民謡ショー、福引抽選など、趣向を凝らして、参加者を楽しませました。

